

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド  
実績報告書(事業助成用)

平成19年3月31日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者  
三菱UFJ信託銀行株式会社 あて

住 所:〒 503-2428  
揖斐郡池田町片山2865 - 1

法人名: 特定非営利活動法人  
ITステーション・ほっと 印  
代表者名: 佐久間 すみ子

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成18年度(前期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

ネットで「つたえ・つながり」未来へ「つなげる」地域コミュニティの創造

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立前事業助成	立ち上げ時期事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成
-----------	------------	---------	----------

3. 助成金額

既交付金額	1,877,000 円
実績額	1,540,000 円
差し引き額	337,000 円

4. 事業実施期間

平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日 (1年)

## 5 . 実施した事業の実績・成果

### (1) 具体的な活動状況（実施日時、場所〔住所〕、対象者、参加者等）

#### 1・事務局設置

- \* 本事業を円滑に推進する事務局体制を設置し、地域住民のニーズに添ったきめ細かな対応ができるシステムづくりをする。
- \* 地域の情報化発展、活性化や新たなコミュニティの創出および再生を計画的、継続的に推進して行くための戦略的拠点としての位置を図る。
- ・事務局スタッフ出勤日程（480時間）・・・詳細別紙参照
- ・スタッフ業務内容・・・別紙参照
  - \* 事務局スタッフの産休による途中交代で、補充継続スタッフの育成等も加わり、当初の計画通りに進まない項目が幾つかあった。

#### 2・スタッフを対象とした研修講習会の開催

- ・年12回開催（講師、TA、HPの作成・管理者、対象講座）・・・詳細別紙参照

#### 3・各種パソコン講習会の開催

- \* 池田町中央公民会「2階講義室」及び「情報ステーション池田」を主な講習会場として、年100回の講習会を開催した。・・・詳細別紙参照
- \* 当初予定していた、10人1講座の計画は、定員不足につき、講座を取りやめることも多々あり、きめ細かな対応、配慮に欠けるという反省点から、少人数制に変更し、1講座5人程度の講座形式に変更を行った。・・・詳細別紙参照
- ・IT講習会開催回数・・・100回
- ・IT講習会参加者数・・・715人

### (2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

- ・事務局スタッフの産休降板があり、途中から新たなスタッフの採用、育成は一年間の継続的な事業展開には、当初の通りに展開できない面も多々あったが何とか事業展開を進めて行かなければならない状況の中で、創意工夫しながら何とか事業展開を図れた経験は大いなるエンパワーメントになった。
- ・スタッフ研修会の開催は、事務局スタッフの途中新規採用等においも、スタッフの育成という観点からも効果的であった。
- ・当初予定していた、10人1講座の計画を定員不足につき、講座を取りやめることも多々あり、きめ細かな対応、配慮に欠けるという反省点から、少人数制に変更し、1講座5人程度の講座形式に変更を行ったことは、講座参加者の親近感も沸き、継続的な講座開催に繋がると共に、新たなコミュニティの創設に広がった。
- ・又、紙ベースでのアンケート調査を置きなわなくても、講座を通して自ら学びたい講座の希望が提案され、それに沿った講座開催が実施できた。

\* 詳細は別紙参照

### (3) 今後の課題

- ・ 今年度の事業を通して、特にシニア世代のコミュニティが自立した活動展開が出来るまでに育成できたことは大きな収穫となった。
- ・ この体験、経験を活かし、新年度からは、地域の高齢者層（シニア世代）を対象にした、事業展開を図るべく計画をしていることもあり、役員、スタッフのシニア世代への緩やかな切り替えもただ今検討中である。
- ・ 地域のシニア層のITをツールとした、各種の活動やコミュニティ拡大充実を図ることは、地域の情報化支援のみならず、地域の2007年問題をも取り込みながら、地域社会の活性化に繋がる活動を進めて行きたい。
- ・ 新しいシニア層のNPOへの役員、スタッフの取り込み確保が中々難しい。